

## 〔さとうきび〕

### 1 作付の概要

さとうきびの 2017/2018 年における鹿児島県の収穫面積は 9,877ha で、前年に比べて 143ha の減少となった。作型の構成は、夏植えが 11.2%、春植えが 16.8%、株出しが 71.9% となっている。株出しが前年の 69.3% からやや増加している。品種構成では、NiF8 が全体の 37.9% を占め、次に Ni23 が 21.4% となっており、Ni22 は 13.9% である。

島ごとに見ると、種子島では、株出しが 71.3% と多く、品種は NiF8 が 66.2%、Ni22 が 16.3%、NiTn18 が 16.6% となっている。奄美大島では、株出しが 66.9% であり、品種は Ni22 が 28.4%、Ni23 が 22.8% となっている。喜界島では、株出しが 69.8% であり、Ni23 が 33.0%、NiF8 が 20.4%、Ni22 が 2.3% となっている。徳之島では、株出しが 74.7% であり、NiF8 が 34.1%、Ni23 が 34.1%、Ni22 が 4.7% となっている。沖永良部島では、株出しが 68.2%、NiF8 が 41.8%、Ni22 が 38.0% となっている。与論島では、株出しが 81.6%、Ni23 が 64.3%、NiF8 が 10.8% を占めている。

沖縄県の収穫面積は 13,809ha で、前年より 871ha 増加した。沖縄県での作型構成は、夏植えが 29.1%、春植えが 8.8%、株出しが 62.1% となっている。品種構成では、Ni27 が 36% と最も多く、NiH25 が 10%、Ni21 が 9%、NiF8 が 6%、Ni28 と Ni22 が共に 5% の順となっている。Ni27 の普及が進んでいる。

地域別では、沖縄地域（周辺離島を含む）では、株出しが 74.3% と多く、品種は Ni27 が 12.3% を占め、次いで Ni21 や NiF8 となっている。宮古地域では、株出しが 57.6% と増加している。また、品種では Ni27 が 66.5% を占めるまで増加し、Ni21 と NiH25 がそれに続く。八重山地域では、株出しが 38.6% であり、品種では NiH25 の 35.5%、次に Ni27 の 20.7% となっており、NiH25 が急速に増えている。

### 2 作柄の状況

鹿児島県では、7 月の干ばつや 8 月以降の台風等の影響を受けたことなどから、単収は 5,346kg/10a で対前年比 84.2%、収穫量は 528,053t で対前年比 82.9% と前年を下回った。甘蔗糖度も 12.39 度と前年 13.98 度を下回り、平年値も下回った。

沖縄県では、八重山地域を除く地域で夏場の少雨傾向による生育停滞と、9 月に宮古地域に襲来した台風 18 号の影響により前期と比較して単収減となった。単収は 5,567kg/10a で対前年比 76.8%、収穫量は 768,675t で対前年比 82.0% と前年を下回った。糖度は 13.9 度となり、前年 14.6 度を下回った。

2017/2018年期の鹿児島、沖縄両県のさとうきび生産実績

県別	年次	農家戸数 (戸)	収穫面積 (ha)	単位収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	甘蔗精度 (%)	産糖量* (t)	歩留り** (%)
鹿児島県	2017/2018年次	7,532	9,877	5,346	528,053	12.39	56,711	11.52
	対前年比	96.4	98.6	84.2	83.0	88.6	73.1	94.5
沖縄県	2017/2018年次	14,267	13,809	5,567	768,675	13.9	87,149	11.18
	対前年比	97.1	106.7	76.8	82.0	95.2	76.2	92.6
両県合計	2017/2018年次	21,799	23,686	5,457	1,296,728	-	143,860	11.35
	対前年比	96.9	103.2	79.6	82.4	-	75.0	93.6

\*: 含蜜糖を含む生産量

\*\* : 分蜜糖のみの歩留り

平成29/30年期のさとうきび及び甘しょ糖生産実績(鹿児島県、沖縄県)より抜粋、編集。